

オンラインで“つながる”スポーツ大会



オンラインスポーツ大会2024
2024年12月13日、小豆島プロジェクトで三回目となる「オンラインスポーツ大会」が開催された。今回は小豆島の福祉施設サンシャイン会と茨木西高校の家庭科部の生徒、そして小豆島プロジェクトの学生研究員が参加した。学生研究員は一回目、二回目とは異なり、つなぎ役として参加した。小豆島と茨木市をオンラインでつなげ、世代や地域を超えた交流を行った。

小豆島プロジェクト活動報告

オンラインスポーツ大会編

発行年：2025

[文責]

本間 太耀
唐津 ゆき乃
金山 凌己



世代を超えて、地域を超えて

当日は、学生研究員が考案した「ペットボトルボウリング」「棒投げ」「牛乳パックタワー」の三種目が行われた。どの競技も高齢者と高校生が対等に勝負できるような工夫した。高校生には「高齢者キット」を着用してもらい、身体の動かしにくさを体験しながら競技を楽しんだ。オンラインという環境でも、両会場から笑い声や応援の声が飛び交い、終始和やかな雰囲気にも包まれた。

画面越しの勝負 大白熱

試合は白熱し、どちらも譲らない盛り上がりを見せた。結果は、ペットボトルボウリングではサンシャイン会が勝利。棒投げでは茨木西高校が勝利。最後に行われた牛乳パックタワーではサンシャイン会が勝利し、サンシャイン会が優勝を飾った。試合後には、両チームが感想を伝え合い、談笑をするなど交流を深めた。オンラインスポーツ大会は一日限りのものであったが、その交流が次の企画につながる第一歩となった。小豆島プロジェクトでは今後もオンラインスポーツ大会を通じて、姉妹都市交流をより発展させる活動をしていく。



茨木高校との交流会

高校生によるまちづくりとは

2024年10月24日、茨木高校にて、お互いの活動や授業について発表し合う交流会を実施した。私たち小豆島プロジェクトは活動内容を発表し、高校生は、まちづくりという授業について発表した。発表後は小豆島や姉妹都市に関するクイズを行った。生徒とは初対面であり、緊張することも多かったが、時間が経つにつれて打ち解けることができ、たわいのない話で盛り上がることもできた。オンラインスポーツ大会企画の目標である「つなぎ役」を果たすには良いスタートとなった。



SDGsをテーマに考える

2025年6月25日、茨木高校にSDGsをテーマに交流会を実施した。私たち小豆島プロジェクトは小豆島のSDGsについて話し、高校生は茨木市のSDGsについて話した。高校生の感想では、電動バイクが気になった、道の駅に行ってみたいなど大変興味を持ってくれている。一方、茨木市ではゴミの分別の意識をより高めるためにルールの細分化やエコステーションの設置、ゴミの再利用を促進するなどの解決策の提案があった。今回の交流会は、間接的な姉妹都市交流にとどまらず、茨木市や小豆島の未来について考える貴重な機会となった。



編集後記

今回のオンラインスポーツ大会企画の活動を振り返って、目標であった「つなぎ役」の難しさを非常に痛感した1年であった。これまで大学内で完結していたものを高校や施設で準備していただき、オンライン環境の整備、三者での日程調整など同時並行で進める大変さを感じた。また、今回の活動が高校生とは初めての間わりとなり、初対面の中、どのようにすれば早く馴染んでもらい、楽しめるかを考えて実施した。私たち学生研究員も緊張しながらも皆さんと盛り上がることができ、高校の先生やサンシャイン会の川西様にご協力いただき、開催できたことに達成感を感じている。